

川俣高等学校



1 スクール・ミッション

高校の存在意義

校訓「謙譲」「忍耐」のもと、県北地区唯一の地域協働推進校に位置する普通科の高校

期待される社会的役割

「分かる授業」の実践や解決策を提案する「地域探究」の取組により、確かな学力やコミュニケーション能力を身に付けた、地域社会に貢献できる人材を育成する学校

目指すべき学校像

ICT機器を活用した授業や川俣町、大学と連携した探究的な活動を展開するとともに、コミュニティ・スクール※として、地域に根ざした教育活動を実践する学校

※ コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）とは、学校と地域住民・保護者が力を合わせて学校の運営に取り組むことにより、「地域と共にある学校」を実現するための制度の一つ。具体的には、「学校運営協議会」（学校と地域の協議の場）を設置している学校のこと。

2 スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー（卒業までに、このような生徒を育てます。）

- 1 自ら学ぶ姿勢と確かな学力を育成します。
- 2 互いを尊重し、心身ともに健康な生活を送ることができる力の一層の向上を図ります。
- 3 自ら課題を発見し、その解決に向けて考える力や行動する力を育成します。
- 4 自らの進路実現に向けて、主体的に取り組む力と職業観・勤労観の醸成を図ります。
- 5 主体的に地域に貢献する意欲と、郷土愛や福祉の精神を育成します。

カリキュラム・ポリシー（高校では、このような教育活動を行います。）

- 1 ICT機器を活用するなどして、個別最適な学びを実践します。
- 2 工業科目や商業科目を開講しています。
- 3 大学との連携授業や、地元企業を招いての企業説明会を実施します。
- 4 教育相談や、スクールカウンセラーによる講話等の機会を設定します。
- 5 地域のボランティア活動に主体的に参加できる環境を整えます。
- 6 地域の協力の下、探究活動をとおして主体的な活動ができる場を提供します。

アドミッション・ポリシー（高校では、このような生徒を求めています。）

- 1 基礎的な学力を有し、入学後も意欲的に学び続ける生徒
- 2 思いやりをもって他者と接し、基本的な生活習慣が身についている生徒
- 3 多角的に物事をとらえ、意欲的に自己を表現しようとする生徒
- 4 コミュニケーション力を有し、地域との交流に積極的に取り組むことができる生徒
- 5 地域の魅力をよく知り、よりよい地域の在り方について考えようとする生徒